



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 新晃工業株式会社

コード番号 6458 URL <http://www.sinko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武田 昇三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員管理本部長 (氏名) 津澤 勲

TEL 03-5640-4155

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	7,219	10.9	423	△30.1	508	△20.2	261	△41.8
25年3月期第1四半期	6,507	5.9	606	219.4	637	223.3	448	232.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 799百万円 (18.8%) 25年3月期第1四半期 672百万円 (291.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	10.23	—
25年3月期第1四半期	17.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	43,760	23,883	49.1	841.69
25年3月期	41,697	23,391	50.8	829.79

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 21,496百万円 25年3月期 21,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	12.00	18.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	8.00	—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期の期末配当金の内訳 : 普通配当 10円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,500	14.7	1,000	△28.6	1,100	△23.5	625	△35.3	24.47
通期	37,500	17.1	4,650	5.2	4,850	5.4	2,900	△10.0	113.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成25年8月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名） 千代田ビル管財株式会社 、 除外 —社 （社名） —
（注）詳細は、四半期決算短信（添付資料）2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	27,212,263 株	25年3月期	27,212,263 株
26年3月期1Q	1,672,142 株	25年3月期	1,671,523 株
26年3月期1Q	25,540,149 株	25年3月期1Q	25,941,272 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策効果による輸出環境の改善や株価回復を背景として、景気は持ち直しの動きを見せました。一方、当業界におきましては、首都圏及び関西圏の大型プロジェクトが一巡したことで、一時的な弱い需要局面をむかえました。

こうした情勢のもと、当社グループは、節電・省エネルギーを意識した高効率性と同時に省スペースを実現する製品の市場浸透、生産革新による品質の追求とコストダウン、各案件に対する積極的かつ戦略的な受注展開などに努めてまいりました。また、当期から新たに当社グループへ加わった子会社の安定的な事業統合に注力してまいりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<日 本>

当業界において一時的な弱い需要局面をむかえたものの、企業買収効果がそれを上回り、売上高は5,847百万円(前年同四半期比5.9%増)となりました。利益面におきましては、受注管理の強化及びトータルコストの圧縮等の取り組みが効果を維持しているものの、需要縮小による利益の下げ幅が大きく、セグメント利益(営業利益)は385百万円(前年同四半期比34.6%減)となりました。

<ア ジ ア>

中国の安定成長に加え、タイでの事業が一部寄与した結果、売上高は1,400百万円(前年同四半期比35.1%増)となり、セグメント利益(営業利益)は24百万円(前年同四半期733.4%増)となりました。

この結果、当社グループの売上高は7,219百万円(前年同四半期比10.9%増)となりました。利益面におきましては、営業利益は423百万円(前年同四半期比30.1%減)、経常利益は508百万円(前年同四半期比20.2%減)、四半期純利益は261百万円(前年同四半期比41.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は43,760百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,063百万円増加となりました。これは主に、売上債権の減少2,120百万円、有形固定資産の増加1,452百万円及びのれんの増加1,542百万円等によるものであります。

負債は19,876百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,570百万円増加となりました。これは主に、仕入債務の減少916百万円及び有利子負債の増加2,191百万円等によるものであります。

純資産は23,883百万円となり、主に四半期純利益の計上及び配当金の支払により、前連結会計年度末に比べ492百万円増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期(累計)連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを踏まえ、平成25年5月15日に公表した数値を修正いたしました。修正後の第2四半期(累計)連結業績予想は、売上高15,500百万円、営業利益1,000百万円、経常利益1,100百万円、四半期純利益625百万円を見込んでおります。なお、通期の連結業績予想につきましては、引き続き厳しい事業環境が続くと予想されますが、大型開発案件について回復基調が見込まれること等から、当初の予想数値を据え置いております。

詳細につきましては、本日付(平成25年8月7日)で別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当社は、千代田ビル管財株式会社の全株式を取得したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,791	6,674
受取手形及び売掛金	18,555	16,434
商品及び製品	455	597
仕掛品	485	714
原材料	649	681
その他	725	645
貸倒引当金	△583	△597
流動資産合計	27,080	25,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,283	4,696
土地	4,815	5,759
その他（純額）	919	1,015
有形固定資産合計	10,018	11,470
無形固定資産		
のれん	—	1,542
その他	480	486
無形固定資産合計	480	2,029
投資その他の資産		
その他	4,141	5,133
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	4,117	5,109
固定資産合計	14,616	18,609
資産合計	41,697	43,760

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,607	6,690
短期借入金	3,846	6,175
1年内返済予定の長期借入金	525	525
未払法人税等	609	185
賞与引当金	468	273
その他	1,644	2,326
流動負債合計	14,702	16,177
固定負債		
長期借入金	960	822
退職給付引当金	1,111	1,218
役員退職慰労引当金	28	29
その他	1,503	1,628
固定負債合計	3,603	3,698
負債合計	18,305	19,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,822	5,822
資本剰余金	4,924	4,924
利益剰余金	11,496	11,451
自己株式	△580	△580
株主資本合計	21,662	21,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	563	674
土地再評価差額金	△799	△799
為替換算調整勘定	△233	4
その他の包括利益累計額合計	△469	△120
少数株主持分	2,197	2,387
純資産合計	23,391	23,883
負債純資産合計	41,697	43,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	6,507	7,219
売上原価	4,387	5,110
売上総利益	2,119	2,109
販売費及び一般管理費	1,513	1,685
営業利益	606	423
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	32	45
持分法による投資利益	14	10
雑収入	18	59
営業外収益合計	67	116
営業外費用		
支払利息	20	22
為替差損	7	—
雑支出	7	9
営業外費用合計	35	31
経常利益	637	508
税金等調整前四半期純利益	637	508
法人税、住民税及び事業税	94	122
法人税等調整額	90	118
法人税等合計	184	241
少数株主損益調整前四半期純利益	453	267
少数株主利益	4	6
四半期純利益	448	261

四半期連結包括利益計算書
第1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	453	267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	110
為替換算調整勘定	207	384
持分法適用会社に対する持分相当額	24	36
その他の包括利益合計	219	531
四半期包括利益	672	799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	567	610
少数株主に係る四半期包括利益	105	189

- (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調 整 額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日 本	ア ジ ア	計		
売 上 高					
外部顧客への売上高	5,519	987	6,507	—	6,507
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3	49	53	△53	—
計	5,523	1,036	6,560	△53	6,507
セグメント利益	589	2	592	14	606

(注) 1 セグメント利益の調整額14百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調 整 額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日 本	ア ジ ア	計		
売 上 高					
外部顧客への売上高	5,846	1,372	7,219	—	7,219
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	28	29	△29	—
計	5,847	1,400	7,248	△29	7,219
セグメント利益	385	24	409	14	423

(注) 1 セグメント利益の調整額14百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「日本」セグメントにおいて、千代田ビル管財株式会社の全株式を取得し、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたため、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの発生額は1,582百万円であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 千代田ビル管財株式会社
事業の内容 ビル管理事業等

② 企業結合を行った主な理由

千代田ビル管財株式会社のビル管理事業には空調設備の点検等が含まれており、当社主要事業の一つである空気調和機の販売及び保守に関する情報共有等を通じた相乗効果の発揮が可能になるためであります。また、同社の堅実な収益性と優良な財務内容並びにストック型の事業を取り込むことで、当社グループの安定収益に貢献することが見込めるためであります。

③ 企業結合日

平成25年4月2日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

結合後の企業名称に変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成25年4月1日から平成25年6月30日まで

(3) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	7,750百万円
取得に直接要した費用	19
取得原価	7,769

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん

1,582百万円

② 発生原因

取得原価が、受け入れた資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。

③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却